那智勝浦町

議会だより

第55号
R8. 11

発行：那智勝浦町議会／編集：議会広報編集委員会／住所：〒649-5392 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字築地7-1-1 TEL 0735-52-0938



《写真》全国高等学校総合体育大会


《会場》体育文化会館

7月臨時会

議案審議……P2
議案採決状況一覧……P7

9月定例会

議案審議……P2～6
議案採決状況一覧……P7
ここを問いたい（一般質問）……P7～14
委員会報告……P15～17
まちの元気・笑顔・輝き……P18
（全国高等学校総合体育大会レスリング競技）

7月 臨時会

7月31日の臨時会では「令和8年度一般会計補正予算」などを審議しました。

令和8年度 一般会計補正予算

朝日地区空き家解体撤去工事請負契約 事業者決定

問 アスベスト調査は実施したか。

答 前年度の調査で含有量が出ている。除去し、撤去工事を進める。

その他、物価高対応子育て応援給付金事業や木戸浦グランド整備遊具工事請負契約などが審議され可決されました。

9月 定例会

9月7日から18日まで12日間の会期で開かれました。

今議会では令和7年度決算認定をはじめ、令和8年度補正予算など25件の議案等を審議しました。

令和7年度 決算認定

ふるさと納税の状況・目標は？

令和7年度 一般会計決算認定

ふるさと納税関連 3,769万円

問 企業版ふるさと納税の状況は。

答 令和7年度実績は、4件。マッチング事業者との契約により企業開拓を進めている。

問 減少傾向にある個人版ふるさと納税の対策は。

答 自場産品開発、ウェブ画像改善、SEO対策や中間管理事業者との連携を強化する。

問 予算説明では、プロモーション事業により関係人口を増やすことで、ふるさと納税を増やすとの説明だったが。

答 首都圏向けプロモーションや宇陀市・大月市と連携を展開しSNS等での認知向上は達成したが、即座の寄付増には至っていない。



問 動画再生回数の評価と今年度の目標は。

答 26万回再生という結果は、過去の町公式動画（10年で1万8000回）と比較し短期間で高いPR効果があった。ふるさと納税は4億円を目指す。

町社会福祉協議会補助金 2,974万円

問 町が社協に求めるものは。

答 社協には福祉ニーズの把握とサービスマッチングを最重要視して求めている。

問 災害ボランティアの体制は。

答 十分な体制は未完成と認識している。平成23年の災害の際に何がどれだけ必要になったか把握できていない状態で、その調査を依頼している。

大門坂駐車場基本設計 506万円

問 バス停車位置や騒音、排気ガス対策など近隣住民への影響について納得がいかない点がある。

答 委員会の意見を真摯に受け止め、関係者へのヒアリングを継続し協議する。

地域活性化企業人派遣費用負担金
1,297万円

問 地域活性化企業人の成果は。

答 観光機構に1名と役場に1名職員を配置。映像専門の企業人により統一画角でのPR・VR動画を整備し、ユーチューブで配信している。

デジタルノマド誘致アドバイザリー業務委託
560万円

問 デジタルノマドの成果は。

答 体験会を行い、太田地区中心に15名（1泊2日）参加。今後は勝浦の街なかで閑散期の長期滞在誘致へ検証を進める。

デジタルノマドとは？
インターネットを使ったIT系の仕事で、場所に縛られず働く人のこと。

那智駅交流センター管理費

問 道の駅の、丹敷の湯を休止して1年になるが収支状況に変化はあるか。

答 令和7年2月から休業中で、燃料費・光熱水費で前年比437万円の減、浴場の使用料は759万円から0円となっている。道の駅全体では、職員数に変更がなくマイナス収支となっている。

減債基金のとりくずし

問 減債基金が取り崩されている厳しい財政状況であったのではないか。

答 令和6年度末2億円の取崩を行った。残高は16億3千万円である。本町では積立額のルールはないが、10億円程度の減債基金残高が適切と考えている。

水道事業会計決算認定

料金改定後の収支は

問 料金改定したにも関わらず、料金水準の妥当性を示す料金回収率が100%を超えていないのは。

答 年度途中の値上げであったことと金利の上昇、資材の高騰が原因だと考える。

問 答申では、令和11年頃に再度料金を検討となっているが。

答 状況によってはそれより早くなるかもしれない。

決議

提出者　津本 議員
賛成者　東 議員

●大門坂駐車場再整備事業の休止を求める決議

大門坂駐車場の再整備事業について、所管である総務経済常任委員会への説明が十分とは言えず、理解が得られていないこと、また、事業計画に不備と思われる点も多く存在することから、事業全体を早急に見直し、執行方法について再検討を行うよう強く求める旨の決議が提案され、賛成8・反対2で可決されました。

賛成：引地・吾妻・城本・曽根・東・松本・津本・勝山
反対：藤社・西

発議

提出者　松本 議員

●那智勝浦町議会議員倫理条例の廃止について

【提案理由】
那智勝浦町議会議員倫理条例は、上位法、地方自治法と重複しており必要性が低いため。

●保育料を無償化する条例改正

【提案理由】
長引く不況の中、子育て世帯の応援・子供を産み育てる環境改善の1歩踏み込んだ施策が必要なため。

の2件が提案され、それぞれ賛成4・反対6で否決されました。

賛成：引地・吾妻・東・松本
反対：城本・藤社・西・曽根・津本・勝山

令和８年度　一般会計補正予算

大門坂駐車場設計業務委託などを審議

大門坂駐車場設計業務委託費　820万円

問 来訪者はどれくらい増えているのか。

答 観光客が令和５年度１万７５４６人から令和６年度１万９１０６人に増加。バスでの来訪が６６９台から８２１台と増加。

問 建物設計で議論が続く中、令和10年度工事なのに、今補正で設計費を出す理由は。

答 当初の補助申請スケジュールに合わせるため。

問 駐車場を有料にするのか。

答 大門坂の設計は有料、無料双方に対応できる設計とする。

問 近隣住民への配慮や意見聴取は。

答 区長や役員へのヒアリングは行ったが、個別の全戸聞き取りはしていない。防音壁や排気ガス対策は詳細設計で検討する。

問 事業の目的は。

答 障害者差別解消法への対応（車椅子利用者の安全確保）、交通安全の確保、老朽化トイレ改修、災害時の緊急一時避難場所の確保という４つの課題解決のため一括整備が必要である。



現在、障害者等用駐車区画から多目的トイレまでの距離が遠いことが最大の問題となっている

豊かな水資源保全基金活用事業　542万円

問 アルミボトル飲料のデザインや委託先は同じか。取水は市野々浄水場か。

答 本町の水資源をＰＲする啓発物品と考え、消費していく過程で有事の際は災害時用水とする。デザインは同じで委託先は決定していない。

問 現在のデザインは町名や世界遺産の森の水であることが分からないデザインである。委託先も遠く、運送でＣＯ２が出る。環境配慮すべき。

答 本町の広報になる効果的なデザインに。また委託先も配慮する。

クルーズ等訪日旅客の受入促進事業　798万円

問 クルーズ船入港で町内に経済的効果は。

答 クルーズ船は直接着岸できず、小型船で観光桟橋に着き、すぐには戻れないので街中を回遊することになる。消費を促すプランも考えていく。


森浦湾に停泊予定のクルーズ船（写真はイメージ）

令和８年度　一般会計補正予算

大門坂駐車場設計業務委託
ボトル飲料水製造業務委託　を削除する修正案を提出

修正案の提出

提 出 者　松本　和彦　議員

提案理由



大門坂駐車場再整備事業は総事業費として５億円と思慮され財政にも影響を及ぼす。また地域住民の方や、大門坂駐車場を利用される方の安心安全と利便性の向上を考え、より良い施設とするために時間かけて話合いをする必要がある。
ボトルウォーターは、販売実績もなく住民に周知されていないため無駄である。

修正内容

大門坂駐車場設計業務委託	８２０万円	
ボトル飲料水製造業務委託等	５４２万円	を削除する

討 論



吾妻　議員

じっくりと議論する時間が必要

大門坂駐車場整備は建築設計が揉めている。そんな中、次の駐車場設計を進めると予算が無駄になる恐れがある。ボトルウォーター事業も様々な意見がでた。じっくりと議論する時間を確保するため修正案に賛成。

修正案に　賛 成

東　議員



議会軽視過ぎる

各事業や計画を進めるにあたり、議会軽視の姿勢が続いており、十分な説明や合意形成のない現状は容認できないため、修正案に賛成する。

吾妻　引地　松本
津本　東　**賛成５**　⇩　**反対５**　藤社　城本　勝山
曽根　西



議長裁決により 修正案否決

大門坂駐車場については、利用者の利便性向上、とりわけトイレ整備が喫緊の課題であることを重視した。今後、議会や関係者の意見を十分に踏まえた整備を進めることを前提に、事業の早期実施が必要と判断し、修正案反対の裁決を行った。

新庁舎整備に係る予算を否決！

地盤調査業務委託 測量業務委託等を削除する修正案を提出

修正案の提出

提 出 者　松本　和彦　議員

提案理由



子供たちに借金と不要公共財産を残すこととなるので、事業を停止する必要がある！

また、財政シミュレーションからも、今後の財源が確保されていない。町の借金が多すぎる。

修正内容

不動産鑑定業務委託	８２０万円
地盤調査業務委託	２８１万円
測量業務委託	４６９万円　を削除する

討 論

修正案に 賛 成

吾妻



財政シミュレーションの織り込み済み事業や今後の病院繰入金の扱いが不透明な中で、場所の選定や調査を進めるのは時期尚早。

東



新庁舎よりも先にすべきことがあり、中長期的に計画を進めるべき。後世に遺恨を残さないように。

修正案に 反 対

城本



庁舎の予算には賛成するが、候補地について十分な説明がなされてない。町政懇談会でなく、庁舎建設の基本構想を広く町民に周知するよう「説明会」を開催すべきである。

曽根



調査をしないと地盤改良など基礎工事の金額が算出できない。適地かどうか見極めるためにも、調査費は必要な経費である。

吾妻　引地　松本
勝山　東　　**賛成 5**

反対 5　藤社　城本　津本
曽根　西

議長裁決により 修正案可決

〈加藤議長〉新庁舎整備の必要性そのものを否定するものではない。一方、候補地や地盤調査の必要性について、現時点では説明及び審議が十分に尽くされたとは判断できず、さらに議論を重ねた上で進めるべきと考え、修正案に賛成の裁決を行った。

議案の採決状況一覧

令和８年第２回臨時会で審議された議案は以下のとおりです
（〇賛成　×反対　議長は採決に加わらない）

議案＼氏名	引地稔治	吾妻正崇	城本和男	加藤康高	藤社和美	西太吉	曽根和仁	東信介	松本和彦	津本芳光	勝山則子	議決結果（賛成：反対）
令和８年度那智勝浦町一般会計補正予算（第５号）	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
朝日地区空家解体撤去工事請負契約について	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
木戸浦グラウンド整備（遊具その１）工事請負契約について	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）

令和８年第３回定例会で審議された議案は以下のとおりです（〇賛成　×反対　議長は採決に加わらない）

議案＼氏名	引地稔治	吾妻正崇	城本和男	加藤康高	藤社和美	西太吉	曽根和仁	東信介	松本和彦	津本芳光	勝山則子	議決結果（賛成：反対）
令和７年度那智勝浦町一般会計歳入歳出決算認定	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	認定（全会一致）
令和７年度那智勝浦町国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算認定 から 令和７年度那智勝浦町立温泉病院事業会計決算認定 まで	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	認定（全会一致）
令和８年度那智勝浦町一般会計補正予算（第６号）　※専決処分	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	承認（全会一致）
那智勝浦町認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
那智勝浦町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
那智勝浦町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
令和８年度辺地に係る総合整備計画の策定について	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
令和８年度那智勝浦町一般会計補正予算（第７号）修正案	〇	〇	×	×	×	×	×	〇	〇	〇	×	否決（議長裁決）
令和８年度那智勝浦町一般会計補正予算（第７号）修正案を除く部分	×	×	〇	〇	〇	〇	〇	×	×	×	〇	可決（議長裁決）
令和８年度那智勝浦町国民健康保険事業費特別会計補正予算（第２号）	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
令和８年度那智勝浦町後期高齢者医療事業費特別会計補正予算（第１号）	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
令和８年度那智勝浦町介護保険事業費特別会計補正予算（第１号）	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	可決（全会一致）
請願受理番号８年２　ニュータウン勝浦区汚水処理施設に関する請願　部分採択	〇	〇	〇	-	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	部分採択（全会一致）
大門坂駐車場再整備事業の休止を求める決議	〇	〇	〇	-	×	×	〇	〇	〇	〇	〇	可決（８：２）
那智勝浦町議会議員倫理条例の廃止について	〇	〇	×	-	×	×	×	〇	〇	×	×	否決（４：６）
那智勝浦町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例	〇	〇	×	-	×	×	×	〇	〇	×	×	否決（４：６）
令和８年度那智勝浦町一般会計補正予算（第８号）修正案	〇	〇	×	〇	×	×	×	〇	〇	×	〇	可決（議長裁決）
令和８年度那智勝浦町一般会計補正予算（第８号）修正案を除く部分	×	×	〇	-	〇	〇	〇	×	×	〇	〇	可決（６：４）

〇固定資産評価審査委員会委員の選任について　⇒　**久原　章功**　氏（中ノ川）　の選任に同意
〇教育委員会委員の任命について　⇒　**松下　裕次郎**　氏（朝日）　の任命に同意

ここを問いたい

９月定例会 一般質問

〇津本　芳光　議員　（８ページ）

◇物価高騰対策と花火大会について
◇子ども・高齢者支援を
◇大門坂駐車場改修と新庁舎建設について

〇城本　和男　議員　（９ページ）

◇世界遺産や自然など住んでいる町や地域の良さを学んでもらいたい
◇自動車道の南進により地域が変わっていく、JR紀勢本線の活用を

〇藤社　和美　議員　（10ページ）

◇バイクの駐輪場が駅・市場周辺にない
◇在宅介護の危機的現状は理解できているか
◇災害時の井戸・ドローン活用と現状は

〇吾妻　正崇　議員　（11ページ）

◇町立病院について
◇ニュータウンの速度制限について
◇今後の学校のあり方について

〇曽根　和仁　議員　（12ページ）

◇大規模災害時に中心部の孤立を防ぐ
◇地域をあげて防災基地の誘致を

〇松本　和彦　議員　（13ページ）

◇町長の政治姿勢

〇西　太吉　議員　（14ページ）

◇これからの防災対策
◇新庁舎整備
◇町立温泉病院の経営状況

※一般質問に関する記事は質問者本人が作成しています。
※各ページ議員顔写真右下のQRコードを読み取ることにより、各議員の一般質問動画を見ることができます。

新たな物価高騰対策と子育て・高齢者支援を

総務課長 国の動向をみて検討を



津本　芳光　議員

物価高騰対策と花火大会について

質問 くらしにゆとりがなくなっている。町民生活を守るため来年早々の商品券配布を。

答弁（総務課長） 町単独では厳しい。国の動向をみて検討を。

質問 町内業者の経営支援のため、お盆の花火大会は勝浦湾内での実施を。隔年ごとの開催も含め検討を。

答弁（観光企画課長） 観覧の環境と安全性で那智湾に。駐車場、警備体制など財政面で厳しい。



勝浦湾内での花火大会を

子ども・高齢者支援を

質問 国保での新たな制度導入は子育て世代には二重取り。国は18歳からの均等割の半額負担を提案。

答弁（住民課長） 低所得世帯には軽減措置を。5割軽減の措置が18歳まで拡充されるが全額免除は難しい。

質問 国が小中学生の補助教材の学校備品化を指示。保護者の負担軽減として教材費の無償化や18歳までの町営バス無料化実施を。

答弁（教育次長・総務課長） 補助教材等の負担軽減は国と合致した取り組みに。町営バスの無料化は公共交通協議会と相談。

質問 高齢者が日常生活を元気に送れるよう新宮市のように補聴器購入への支援を。

答弁（福祉課長） 新宮市の制度も確認。情報収集しながら検討を。

大門坂駐車場改修と新庁舎建設について

質問 常任委員会への提案が不十分。大門坂は世界遺産の通過点。小中学生からデザインの公募をしても良い。

答弁（町長） 大門坂は熊野古道の入り口。トイレの老朽化、バス停の安全対策、バリアフリー化へ。周辺住民の災害対策から改修の判断を。

質問 公共施設は町民の財産。新庁舎建設は、先の町長選で町民の信を問うべき。住民サービスも含め様々な形での説明会開催を。

答弁（総務課長） 学術関係者を中心に新庁舎整備方針検討委員会を構成。住民サービスの低下は想定せず。

子供たちに住んでいる町、地域の良さを学んでもらいたい

教育次長 学校で地域に応じた学習に取り組んでいる



城本　和男　議員

世界遺産や自然など住んでいる町や地域の良さを学んでもらいたい

質問 それぞれの地域にお祭りなど残すべきものがある。例えば、下里には県の無形文化財「高芝の獅子舞」、登録文化財の基督教会や懸泉堂、炭問屋の屋敷など街並みの保存とともに空き家対策も実施していく必要がある。懸泉堂に対する町の文化財審議会の答申内容はどうだったか。

答弁（教育次長） 国の登録有形文化財として保存整備、活用について提言を受けている。

意見 文化財審議会の答申に基づき、やっと調査測量が始まろうとしている。世界遺産那智やジオ、各地域について、町のことを学ぶためにかつて小学校の先生達で作った「副読本」があった。整備し地域学習の場に活用してもらいたい。



高芝の獅子舞
地域の伝統文化、世界遺産やジオ（自然）を大切にする那智勝浦町に

自動車道の南進により地域が変わっていく、JR紀勢本線の活用を

質問 紀勢本線活性化協議会の活動は。

答弁（観光企画課長） 周辺市町村がそれぞれ数値目標を定めて利用促進を図っている。

質問 観光の町としてもJRの活用を積極的に推進すべき。周辺と連携し特急利用の宿泊客にクーポンを出すことはできないか。

答弁（観光企画課長） 広域の取り組みとして検討してみたい。

質問 紀伊勝浦駅前の整備について、観光客だけでなく地元住民が利用しやすい整備となっているか。

答弁（観光企画課長） 住民ワークショップで意見を聞いている。



紀伊勝浦駅前の整備計画
地元の方も利用しやすいように。送迎用の駐車スペースも必要ではないか。

その他市屋地区に予定された太地町の水道施設造成問題について、農地転用が有効なのか、住民の不安を解消するよう質問しました。

有料駐車場に二輪車は入れない
駐輪場の整備を

町長 二輪車を駐輪できる所を早急に検討する



藤社　和美　議員

バイクの駐輪場が駅・市場周辺にない

質問 駅や市場周辺は有料駐車場で対応しているがバイクは使えない。最近、バイクでの来町者も多い中で駅、市場など、築地周辺にバイク対応の駐輪場を屋根付きで整備できないか。

答弁（町長） バイクが有料駐車場を使えないことを認識していなかった。早急に検討する。

在宅介護の危機的現状は理解できているか

質問 介護を必要とする年齢は全国平均で75歳。当町の75歳以上人口は。

答弁（福祉課長） 3759人、28・7％。

質問 4人に1人が75歳以上、施設にも入れず在宅介護となる。今、在宅介護事務所が次々と閉鎖していく中でヘルパーが確保できない。以前、家事援助を有償ボランティアでと提案した。様々な対策をすぐに進めて。

答弁（福祉課長） 町でも色々な事業で高齢者の体力維持や社会参加を促して、健康寿命を延ばす取組みをしている。介護に必要な人材を有償・無償ボランティアで共助いただける仕組を考えていく。

災害時の井戸・ドローン活用と現状は

質問 以前の質問で井戸の数は10年前の情報との事だったが。

答弁（防災対策室長） 災害時協力井戸の登録は8件で周知は進める。

質問 生活用水の利用として温泉も可能と考える。井戸と併せて検討お願いする。現在、当町は何機のドローンがあるか。操縦は何人できるのか。

答弁（防災対策室長） 温泉、井戸共に検討していく。ドローンは2機、操縦の登録者は22名。現在でも様々な活用をしている。



発災後は道路、線路、海路もだめになる。ヘリコプターの離発着場の整備や運搬用ドローンの訓練の実施を!!
〈画像はAIで作成〉

病院、一般会計からの基準外繰入金が増える懸念はないか

総務課長 無制限な一般会計での穴埋めはあり得ない



吾妻　正崇　議員

町立病院について

質問 以前提案したオンライン事前受付システムの導入検討はどうなったか。待ち時間短縮は体調の悪い患者の切実な願いである。

答弁（病院事務長） 国のDX補助金を利用しての導入を進めたが、不採択となった。今後も現在のシステム業者と協議していく。

質問 和歌山市内の病院まで検査結果を聞きに行くだけで往復6時間かかるなど、患者の負担が大きい。遠隔地の病院と連携した遠隔外来はできないか。

答弁（病院事務長） 当院だけの問題ではなく、相手先の遠隔地の病院との協議も必要となる。広域的な取り組みになるため、町からも県へ情報提供を行っていく。

質問 新庁舎建設の財政シミュレーションでは病院への繰入金が横ばいとなっている。今後、資金不足による基準外繰入金が増える懸念はないか。

答弁（総務課長） 無制限な一般会計での穴埋めはあり得ない。まずは病院の経営健全化計画の策定が必要であり、現金が枯渇する見込みとなった場合は一時借入金の活用も視野に入れる。

ニュータウンの速度制限について

質問 9月からの生活道路の法定速度30キロへの引き下げにおいて、ニュータウンのメイン道路は中央線があるため対象外（60キロ制限）となっている。通学路であり大変危険だが、町として対策はできないか。

答弁（建設課長） 現状、スピードが出やすい道路であると認識している。区の役員や学校関係者、警察と協議し、和歌山県公安委員会に対して速度制限の要望を行っていく。

今後の学校のあり方について

質問 子供たちの未来に直結する今後の学校のあり方について伺う。来年度入学予定の小学生は、宇久井、勝浦が各18名、市野々が6名、色川が0名、太田が1名、下里が2名です。人口減少が進む中、施設の長寿命化計画による改修と学校再編の議論を並行して進めないと将来の財政負担になりかねない。保護者や地域住民と協議し合意形成を図るための、具体的なスケジュールは。

答弁（教育次長） 検討委員会の答申では、児童生徒数の減少を見据えた適正規模・適正配置の議論が必要であり、保護者の意見が最も重要とされている。長寿命化などの施設面の課題も踏まえ、今年度中（年度内）に教育委員会としての方針を固め、次年度以降の議論の進め方についても決定したい。

湯川第二トンネル内 緊急出入り口の整備を

建設課長 来年度、改修工事を行う予定である

大規模災害時に中心部の孤立を防ぐ

質問 本町が巨大地震に襲われた時、国の救援活動の初動は。

答弁（建設課長） 県の計画に基づき、高速道路から国道42号を経て、72時間以内を目標に道路啓開（がれきの撤去）を完了させることとなっている。

質問 浜ノ宮のインター出入り口は、津波の浸水が深く、ここが塞がれると救援部隊が町の中心部に入れない。その場合、那智勝浦新宮道路の湯川第二トンネル内の緊急出入り口から湯川地区へ抜けるルートが重要になるが、出口から先の道路が通行できない状態のため、早急に整備を。



外側から見た緊急出入り口
手前の路面が荒れている

答弁（建設課長） 来年度、緊急防災減災事業債を活用して改修を予定している。

質問 緊急出入り口から湯川地区を通り、浸水の恐れのある国道42号の甫子浦を避け、消防や新庁舎候補地へ山越えに抜ける迂回路を新設できないか。

答弁（総務課長） 福祉健康センター周辺で新庁舎事業が進んでいくなら、道路の重要性は増すと考えるが、施工が可能か、また費用や財源などを慎重に検討する必要がある。

地域をあげて防災基地の誘致を

質問 道路啓開の最寄りの拠点は、国交省が管轄する「すさみ防災基地」である。東牟婁地域にも同様の施設が必要。圏域の首長で防災基地誘致の陳情を行って頂きたい。

答弁（防災対策室長） 半島特有の防災対策が能登半島地震でも課題となった。救助活動や物資の輸送等、広域の防災拠点整備を実現するため、東牟婁郡町村会から県に対し要望を行っている。



すさみ防災基地に設置されている
資機材の倉庫

他に、町民によるクリーンセンター見学の勧め・「ゆうゆう体操」が継続できるよう支援を、の2テーマについても質問しました。



曽根　和仁　議員

新庁舎財政シミュレーション大丈夫？

総務課長 財政シミュレーションは あくまでシミュレーションである



松本　和彦　議員



質問　決算質疑の答弁で、本町の財政規模では減債基金10億円程度が適正という事であった。整備検討委員会に出された資料『財政シミュレーション』では、３つの基金残高合計が14億５千万円であり、本決算では当初より2.3億円下振れしている。検討委員会では財政を心配する意見もあったはず。財政規律（将来の適正規模）が保たれると言えるか。

答弁（総務課長）　シミュレーションは将来の適正規模を図るものではない。

質問　懸泉堂は町長がしっかり方向性をきめるべきではないか？

答弁（町長）　地元の方々が、有効に使いたいと言う事から、いただいた物なので、それらを全く無視する事はできない。調査費をつけて本当に活用出来るかを含め方向性を決めていく。

【町立温泉病院の今後・質問】
●経営改善が進まない現状、方向性（広域化・町単独での運営）を決める時ではないか。
●広域化の考えと、現病院建物の活用として、病床を減らし透析等防災減災の面で必要な病院機能を維持し残ったスペースを新庁舎にする考えはないか。
【一般質問後記】
●病院がなくなっても、医療はある程度保たれる、医療センターを中心に継続的に検討が必要。
●民間で出来る事は民間にお願いする。
行政としてスマートシュリンクの考えが必要。（病床を減らす考え）
●120床を20床として補助金を活用した病院改装を実施、庁舎・病院の複合化を検討すべき。（財政的にも立地条件としても好条件となる）



【質問】
●スポーツ合宿支援の充実。
●体育文化会館、冷水器増設が必要。
●今後も継続されるレスリング合宿支援にロールマット整備が必要。
【町長】
●スポーツ合宿支援を実施する。

【懸泉堂解体・質問】
●利活用考えるなら、目的にあった条例を制定し予算化するべきではないか。
●現在、不適切な財産管理の結果、崩壊リスクが高く、危険な状態となっている。放置した町長の責任は。
【町長】
●答弁なし。

これからの防災対策は

町長 ハード・ソフト含めできるところからやっていく



西　太吉　議員

これからの防災対策

質問 紀伊半島大水害から15年が経過する中、災害が激甚化することも多い。これからの防災対策の展望は。

答弁（防災対策室長） 避難訓練や早い段階での避難所開設、避難行動要支援者の把握など住民の避難体制の整備や避難場所での設備の充実を水害を教訓に防災、減災対策を進めている。



質問 町が対策を進めても、住民のみなさまが避難しないと災害から命を守れない。自助、共助を促すための取り組みは。

答弁（防災対策室長） 自助面では、防災行政無線のメールサービスや町内全世帯へのハザードマップの配布など防災情報の周知。共助面では避難路整備の補助や自主防災組織の会合等での情報交換など、各地域での避難訓練を行っている。災害直後の避難所は、避難された住民の方々が主体となり、お互い協力の上、運営に参画して頂くことが大切。

新庁舎整備

質問 新庁舎整備基本構想案がまとまったと聞くが新庁舎が必要な理由は。

答弁（総務課長） 平常時は行政サービスの中心として、災害時には対策本部や復旧、復興の拠点として重要なもの。耐震性、防災性を確保した安全な庁舎整備は喫緊の課題である。

質問 候補地である福祉健康センター周辺は、交通アクセスが脆弱で道路整備も必須であるがどう考えるか。

答弁（総務課長） 周辺環境の整備を含め、中長期的に検討していく。

町立温泉病院の経営状況

質問 病床稼働率を高くしても赤字を解消できていない。地域医療を支える病院としてどのような改善を行っていくのか。

答弁（病院事務長） 入院以外も強化していく必要がある。今年度開設した医療・福祉サポートセンターでは地域に出向き、相談を受けながら受診につなげている。町民のみなさまに寄り添い、医療・福祉・介護等の垣根を超えて関係機関と連携していく。

観光施策に議論白熱!!

総務経済常任委員会

大門坂リニューアル整備

関係者ヒアリングの意見を反映し、太陽光発電設置の見送りやトイレ入口の扉設置を含めた観光案内書及びトイレの実施設計中であると当局より報告を受けました。

建物に1億円もかけた大屋根が必要なのか、バス出入り口付近は狭く危険なので運転手等に実際に立ち会ってもらいたい、設計プロポーザルの選考委員に専門家がいない中、どのような選考が行われたのか、歩行者の動線を再考してほしい等の意見が出されました。



リニューアルが予定されている大門坂駐車場周辺

ニュータウン勝浦区汚水処理施設に関する請願

令和8年第3回定例会において、請願受理番号8年2ニュータウン勝浦区汚水処理施設に関する請願は総務経済常任委員会に付託されました。

請願受理番号8年1と同じものであり、調査事業を早期に着手することを加え、同じ回答としました。

宿泊税導入に向けて

那智勝浦町における新たな財源確保と観光振興の充実を図るため、「那智勝浦町宿泊税検討委員会」を設置し宿泊税導入に向け議論されています。

これに対し委員から法定外普通税にできないか、宿泊税を徴収するにあたり民泊の事業者はどう考えているのか、県との調整や事業者の負担は、入湯税と宿泊税の使途等の質疑がされました。



もっと健康に！もっとつながる！那智勝浦のいま

教育厚生常任委員会

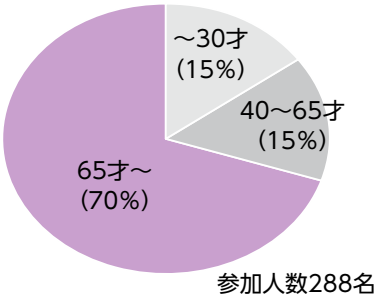
なちかつ健康フェスタ2026開催

健康増進計画を軸に日頃意識しにくい健康状態をチェックできる測定コーナーや、楽しく体を動かせる体験ブースを通じて、健康増進及び健康意識の向上と、交流イベントを通じて多世代間の交流を図っています。

来場者にアンケート実施し、その報告がありました。参加のきっかけは広報誌が最多で、ついで知人からの紹介、新聞記事でした。よかった企画は、健康促進ブース（骨密度、血管年齢測定、握力、立ち上がりなどの運動測定）が最多でした。

今後の課題として、商品券などのインセンティブ（対価）は若い世代にも有効ではないか。また、高齢者を主対象としつつ、親子世代、働く世代への参加促進が必要ではないかとの意見が出ました。

健康フェスタ参加者年齢内訳



参加人数288名

美瑛町児童生徒との交流

本町との友好都市提携を記念して、那智勝浦町の子どもたちと美瑛町児童生徒との交流が7月30日に実施されました。

美瑛町小学生7名、中学生13名と那智勝浦町児童15名が磯遊び、勝浦小学校での交流、那智の滝等の見学。9月には太田小学校、色川小学校と美瑛町立小学校とのオンライン交流も開始予定です。

委員から、今後も美瑛町との交流を実施するのかとの質問に、将来的には那智勝浦町側からも訪問することを視野に入れたいが、まずは学校間交流を深める方針との事でした。

クリーンセンターにおけるリユース会

持ち込まれた廃棄物のうち、再利用可能な物品を対象としたリユース会を試験的実施として、クリーンセンター地元の二河区民を対象に行われました。今後は全町対象での実施も考えているが、ユース品のばらつきや駐車場不足、会場対応能力超過の懸念などの課題があると説明がありました。

また委員よりクリーンセンターの見学会を通じて、分別の理由、水切りの必要性、作業現場の実態を住民が理解しやすくなるので、学校単位、地域単位での見学会を設けてはとの提案があり、機会があれば見学会の実施を検討したいと答弁がありました。

患者見守りシステム導入検討

病棟において、特に夜間は限られた看護師数で多数の患者を対応しており、転倒、転落、体動困難の早期発見が課題となっています。その対応策として、見守りシステム導入を検討しているそうです。導入候補は、ミリ波レーダーとＡＩを活用した機器。カメラではないため、着替えは記録されずプライバシーも保護され、床に倒れている等を検知可能。まずは院内で数台を設置し、約一か月の検証を行い有効性が確認できれば、本格導入を想定したいとのこと。導入実績や効果件数についての質問に、民間病院や介護施設での実績はあるとのことでした。



医療・福祉サポートセンターも順調

議員報酬 小委員会を設置

議会改革特別委員会

今議会では6月議会同様に、①議員報酬に関すること、②議会のデジタル化対応に関することの2点について討議をする予定でしたが、②についてはペーパーレス化とデジタル化に向け、タブレット購入の予算も確保できたことから、会議場でのノートパソコンやスマートフォンの持ち込み等が可能となる「使用基準」を定めるなど具体的に動き始めました。今後はパソコン等を活用した、より開かれた効率的な議論を行ってまいります。

そして、①の「議員報酬について」は事務局調査の資料をもとに、引き続き議員報酬の検討を行うこととし、小委員会を設置して検討することにしました。

そして、小委員会の委員長には、西太吉委員が選出されました。



今後は議場へのパソコン等の持ち込みが可能になります。ご理解をお願いします。

検討委員会による候補地の選定を受け

新庁舎整備特別委員会

8月3日、有識者等からなる新庁舎整備方針検討委員会が、町長に中間答申を提出し、福祉健康センター周辺の2カ所を移転先の有力候補地として選定。9月15日開催の委員会では、選考の経過に関する説明と、今後の方針として、さらに調査を行い候補地として確定したいと、町当局の意向が示されるとともに、基本構想（案）の報告がありました。



基本構想(案)では、図書館や金融機関との複合化の検証も。

なお現庁舎は、かつて海だった埋立て地に建設され、杭基礎も6メートルしかなく、液状化や津波被害が想定され避けるべきとの意見が多く、他の候補地では、まちづくりの観点から、町立病院駐車場が最適との意見が出されましたが、周辺住宅への影響や駐車場の確保の点から、選考から外れたとの事です。

委員からは様々な意見・異論が

審議では、町民へ丁寧な説明を求める声のほか、建設ありきで進んでいるという懸念や、国の補助金の期限に合わせるのではなく、長期的な視点で再検討を求める慎重意見、また、実施にあたって住民投票を行い、最終的な判断を仰ぐべきという意見も提起されました。

まちの元気・笑顔・輝き

第41回



地元にレスリングを通して貢献したいと思い始まったこの合宿も、今夏で17年目を迎え、海外の選手も含め、多くの選手が参加する大規模な合宿となりました。レベルも五輪代表、金メダリストが参加するなど、年々レベルアップしています。今後の目標としては、やはり、この合宿を経験したこの紀南の地域から、五輪代表、メダリストが輩出する事を願うと共に、レスリングを通した地域活性を図って行きますので、引き続き、那智勝浦町、民宿、地元の方々のご支援を賜りたいと思います。

大東文化大学レスリング部コーチ
ワクワクレスリング教室代表　　太田　拓弥　氏



地元出身選手のスパーリング



合宿で使用された
東京オリンピックのレスリングマット



総勢330名。海外からも多数の選手が参加。

那智勝浦町体育文化会館でインターハイと国際合同合宿が開催され、町全体に熱気と活気が溢れていました。世界各地から集まった選手たちの激しい攻防と情熱的な姿勢に深い感銘を受け、素晴らしい感動を味わえました！

YouTube

一般質問はこちら
【町ホームページ】

表紙の写真から

大きな事業が進む中、議員それぞれの意見もあり議会は白熱しています。

町民の皆様に、正しくそして分かりやすくお伝えするにはどうすれば良いか、限られた紙面ではありますが、編集委員一同工夫を重ねながら取り組んでまいります。

（藤社　和美）

●議会広報編集委員会
委員長　藤社　和美
副委員長　吾妻　正崇
委員　引地　稔治
委員　西　太吉
委員　松本　和彦
委員　勝山　則子

●発行責任者
議長　加藤　康高